

【随想】外国人が見た日本の電柱・電線（2）

今回は、1990年にアイルランドから日本に来られ、現在東京でビデオ・プロダクションを営んでいるデルモット・キローランさんのエッセイです。

“The camera doesn't lie!”（カメラは嘘をつかない）

20年前、日本に初めて来た時、私は目に映る全てが母国と大変異なることにショックを受けました。

その違いは、ある時は大きく、ある時は小さいものですが、どれも独特で心ひかれる日本の風景で、アイルランドから来た私に強い印象を与えてくれました。

大通りから外れると、東京の脇道や小道には必ず活気ある生活の姿が見られ、私はそれに魅了されました。立ち並んだ美しい古風な建物の店や会社は、まるで宝石箱のようでした。東京は世界最大の大都市の一つと言われながら、街中には調和がとれた庶民の生活が残っていました。どの建物もそれぞれに個性と、これが日本と言える特徴がありました。色とりどりの漢字や仮名で書かれた街路標識や店の名前は、見たこともない私にとってはまるで“ストリートアート”でした。こんな景観すべてが魅力的で、私に刺激的な冒険心を沸き立たせてくれました。



デルモット・キローランさん

写真撮影は私の10代の頃からの趣味でした。私はどこに行けば良い写真が撮れるかを分かっており、行く先々で素晴らしい景観を見つけました。新しい人生の場所、東京に来てからも、“世界一”の写真撮るチャンスがどの街角にもあると確信して、カメラを手に街中を冒険しました。友人からは「時間が経つと初めの印象も薄れ、“普通の場所”になってしまうから、日本に着いたら早いうちに沢山の写真を撮るように。」と言われました。これは貴重なアドバイスでしたが、私にそのような励ましは不要なことで、毎日、語学教室に行く途中で沢山の良い撮影場所を見つけ、週末にもう一度訪れて写真を撮っていました。

「カメラは嘘をつかない。」と言われます。こういわれる理由の一つは、人の脳はある時はフィルターとして働くからです。私たちの目はいつも全ての物を見ていますが、脳が時々私たちをトリックにかけ、自分が快適な状態を作り上げてくれます。写真を撮り始めてからこのことをはっきりと知るようになりました。私は良い写真を撮るためにどの街路に行くべきかを覚えていました。しかし、そこに行き、カメラで覗くと、それが非常に難しいことが分かりました。良い写真を撮るために、動き続け、向きを変え、体を振ってポジションを決めなければなりません。しかし、これは苦ではありませんでした。なぜならば、それが写真撮影の楽しみの一つだと分かっていたからです。またたく間に何本もの写真を撮り終え、写真店からプリントを受け取るのを楽しみに待っていました。そして現像された写真を見たときのショックと期待外れは今でも覚えています。良い写真は一枚もありませんでした。私は世界で一番下手な写真家でした。どの写真にも、醜い電柱と電線が“三次元的な効果”であらゆる方向に這い回り、前景を覆い尽くしていたのです。私が写真に撮ろうとした美しい景色は、控えめにそして“恥ずかしげに”背景に納まっていた。カメラは嘘をつきませんでした。自分に都合の良いように私の脳がいつも景色から消していたものを、カメラは正確に映し出してくれたのです。

数週間後、私は自分の目で見た美しい景色や建物の完璧な写真を撮りたいという気持ちでその場所をもう一度訪れました。しかし、悲しいかな、自分が欲しいショットを撮ることはできませんでした。結局、感激した気持ちがあった日本に来て一カ月間に撮った写真には、“記念に残る写真”は一枚もありませんでした。

私は今でも20年前に感激の気持ちで写真を撮った街中を歩くことがあります。多くの建物は当時のままです。しかし、今みると“ごく普通の景色”ですが、そして、使い古したコートのような電柱と電線は、背後の景色を覆うように、今でもそこに残っています。



キローランさんが20年前に撮った東京の街並み

Isn't it time to discard it?（何時になったらこの古コートを捨てるのですか？）

デルモット・キローラン (Dermot Killoran)

「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA～

第29号

発行日:2010年12月24日(金)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

【活動報告】

1. “『電柱のないまちづくり』出版記念セミナー”を東京で開催しました。

11月29日、大阪での開催に引き続き、東京において出版記念セミナーを開催しました。当日は、川越町並み委員会委員長の可児一男氏に関東地区の無電柱化の具体例として「川越一番街の無電柱化について」の講演を、(財)生産振興財団専務理事の松本浩氏に財団法人が取り組む一戸建て住宅地の無電柱化事例として「すまいのまちなみ形成と電線の地中化」の講演を頂きました。



大阪でのセミナーより少ない参加者でしたが、講演内容のみならず、NPO活動の進め方等に関する活発な質疑応答も交わされました。セミナー後交流会を行い、講師の方々との直接会話も弾みました。このセミナーを東京地区でのNPO活動拡大の足掛かりにしたいと考えています。講演内容の一部は、【特集】に掲載しています。

2. “健康で活気に満ちた地域作り貢献するNPOを支援する吹田70コンサート”に参加しました。

12月5日、吹田市施行70周年記念事業の一つとして行われた標記イベントに参加しました。

このイベントは、吹田市で活動しているボランティア団体やNPOが情報発信を行い、地域社会貢献活動について、吹田市民の方にPRするものです。当NPOも特設ブースを設け、電線類地中化について啓発活動を行いました。ブースに来られた方は、「欧米主要都市と日本の都市の無電柱化率の違い」や「阪神淡路大震災での電柱の被災率」など、普段意識しない電線・電柱についての情報に興味を示されていました。

3. “第4回異業種交流会”を1月27日に開催します。

電線類地中化に関する情報収集・意見交換の場である異業種交流会(第4回)を、1月27日(木)18時30分から、大和ハウス工業株式会社大阪本社で開催します。今回のゲストスピーカーは大阪府総合計画課企画推進グループ副主査富山久男様で、「大阪府の電線類地中化の推進」についてお話を頂きます。

会員の皆さまのご参加をお待ちしています。なお、参加申し込みは下記までお願いします。

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 (株)ジオリズム内 根井 井上
Mail: info@NPONPC.org http://nponpc.org
Tel: 072-653-5811 Fax: 072-653-5833

【特集】東京『電柱のないまちづくり』出版記念セミナー

今月は、東京で行った“『電柱のないまちづくり』出版記念セミナー”の講演の特集です。

◇◇第一講演「川越一番街の無電柱化について」から

書籍には載っていない、無電柱化実現への住民の努力の一端を紹介します。

1. トランスの設置

川越一番街は歩道がない道路で、トランスの設置場所の確保が地中化の大きな課題であったが、住民の協力により、私有地にトランスを設置することができ、地中化が実現した。



銀行の駐車場に設置



店舗の間に設置



歯科の通路側面に設置

2. 看板

「町並み委員会」は、良い町並み作りを目指し、川越一番街の景観に合う看板・のれん作りを推進してきた。



埼玉りそな銀行
(建物に合うデザイン、
配色を採用)



タイムス



サンクス

3. 街路灯整備

3社のデモンストレーションにより、町並みに合った街路灯を採用した。

採用した街路灯は建物と足元を照らすよう工夫されている。



地中化前



地中化後

◇◇第二講演「すまいの街並み形成と電線の地中化」から

一戸建て住宅分譲地で実現した電線地中化の事例を紹介します。

1. 造成後、宅地割後の電線地中化 : 船橋美し学園 芽吹の杜(千葉県船橋市)

道路も完成しており、道路への電線埋設は不可能なため、住宅建築前の民有地に電線を埋設することにより電線地中化を実現した。



民地内への電線埋設



埋戻し後



完成後(電線は民地の門柱前に埋設されている。)

2. 開発地全体は架空化と決まっている分譲地の電線地中化 : リファージュ高坂(埼玉県東松山市)

開発地全体は架空化と決まっている中で、財団がコーディネートした60区画について、高額な費用負担を軽減するため、外周部の29区画は架空から供給、内側の31区画を地中化し、60区画エリア内の良好な景観を実現した。

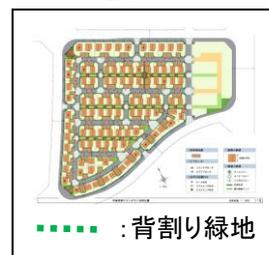


赤線: 地中化電線



3. 地中化が無理な場合には : マリントウン LA COSTA(沖縄県与那原町)

背割り部分に緑道がある住宅地で、緑道に目立たぬ様に電柱を設置し、表側部分は電柱がないすっきりした景観を確保した。



緑線: 背割り緑地



背割り緑地



表通り

『川越一番街』町づくりの課題

- ①防災計画・防災設備の充実
- ②景観形成地区(伝建地区の外側)の整備
- ③交通問題の解決
- ④専門店の誘致
- ⑤設計・建築関係者の理解の醸成
- ⑥NPO(町並み委員会)の位置付け

まとめ

- ①良好なまちなみ形成を進める上で、電線地中化は重要な要素です。
- ②全面的な地中化ではなく、部分的な地中化でも相当程度の効果はあります。

当 NPO ではメールマガジンも配信しており、電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！ぜひこちらにもご登録ください！
→ <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

当NPOのHP(ホームページ)でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！
<http://nponpc.org/top.aspx>

